公益社団法人日本設計工学会

平成 23 年度通常総会資料

開催日：2011 年 5 月 28 日（土）

会　場：日本大学 津田沼キャンパス

千葉県習志野市泉町１－２－１

2010年度事業報告

1. 会員異動

	2011年3月31日現在	2010年3月31日現在	増減
名誉会員	29名	25名	4
正 会 員	900名	913名	-13
学 生 員	126名	77名	49
賛 助 員	40名	37名	3
会員総数	1,095名	1,052名	43
賛助企業	17社	16社	1
購読会員	36名	36名	0

2. 平成22年度通常総会・臨時総会及び評議員会

2.1 通常総会

5月22日（土） 早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス

2.2 評議員会（春季）

5月22日（土） 早稲田大学理工学術院 西早稲田キャンパス

2.3 評議員会（秋季）

10月23日（土） 高知工科大学 教育研究棟Ａ会議室

2.4 臨時総会

12月6日（月） 新宿パークサイドホテル2階会議室

3. 出版事業

3.1 会誌「設計工学」12巻と特集記事のタイトル

第45巻4号 包装・容器の技術動向（2）
第45巻5号 農業と機械・ロボットの設計
第45巻6号 設計支援のための解析技術
第45巻7号 携帯情報機器開発のためのデジタルプロトタイピング
第45巻8号 自動車におけるCAEの利用法と適用事例
第45巻9号 先進複合材料の構造設計
第45巻10号 工学設計とデザイン
第45巻11号 安全を設計する
第45巻12号 3次元CADを用いた“ものづくり”教育事例
第46巻1号 地球環境とエネルギー技術
第46巻2号 ウェアラブルデバイス
第46巻3号 CAEの現状と問題点

3.2 平成22年度論文賞・奨励賞・MIR賞の選考

3.2.1 論文賞（1件）

伊藤 隆氏（KYB㈱），岸 佐年氏（長野高専），堀内富雄氏（長野高専），塚本修民氏（KYB㈱）
吉川真楽氏（KYB㈱），深田茂生氏（信州大学）

第 45 巻 3 号「EPS 用斜め食い違い軸ウォームギヤの設計製作に関する研究」

3.2.2　奨励賞（3 件）

(1)　相原建人氏（首都大学東京大学院）

第 45 巻 1 号「片持ばりの等価 1 自由度モデルによる定常衝突振動解析」

(2)　杣谷　啓氏（東京理科大学大学院）

第 45 巻 2 号「粘弾性体で支持されたフォイルスラスト空気軸受の動的特性」

(3)　若林信宏氏（日立オートモーティブシステムズ㈱）

第 45 巻 3 号「V 型リンク機構を用いた上下免震装置の設計方法と三次元免震テーブルへの応用」

3.2.3　ＭＩＲ賞（3 件）

(1)　安川義浩氏，三浦一憲氏（レンゴー株式会社）

第 45 巻 3 号「段ボールの包装設計」

(2)　野間口 大氏（大阪大学）

第 45 巻 6 号「設計検証のための工学解析モデリングプロセスの知識管理にむけて」

(3)　内田孝尚氏（株式会社本田技術研究所）

第 45 巻 8 号「本田における設計者自身による CAE 活用とその適用事例」

4.　集会事業

4.1　平成 22 年度春季研究発表講演会

5 月 22 日(土)・23 日（日）　　早稲田大学理工学術院　西早稲田キャンパス

講演件数：47 件

特別講演：宮下朋之氏（早稲田大学理工学部教授）

「早稲田大学における小型衛生開発」

4.2　平成 22 年度秋季研究発表講演会

10 月 22 日(金)・23 日（土）　　高知工科大学　システム工学群

講演件数：88 件

特別講演：筒井康賢氏（高知工科大学工学部教授）

「ジェットエンジンの起源と将来」

4.3　平成 22 年度春季研究発表講演会優秀発表賞・学生優秀発表賞

4.3.1　優秀発表賞　1 件

宮永宣典氏（早稲田大学）

講演：軸受支持要素の温度特性を考慮したヘリングボーン動圧気体軸受の安定性：理論的検討

4.3.2　学生優秀発表賞　3 件

(1)　横山真平氏（早稲田大学大学院）

講演：軸受支持要素の温度特性を考慮したヘリングボーン動圧気体軸受の安定性：実験的検討

指導教員賞：富岡　淳氏，宮永宣典氏（早稲田大学）

(2)　三澤　潤氏（東京理科大学大学院）

講演：小径玉軸受のグリース挙動観察

指導教員賞：野口昭治氏（東京理科大学）

(3)　三本直樹氏（明治大学大学院）

講演：形状記憶合金を用いた針電極加温の特性

指導教員賞：加藤和夫氏（明治大学）

4.4　平成22年度秋季研究発表講演会優秀発表賞・学生優秀発表賞

4.4.1　優秀発表賞　3件

(1)　田中英一郎氏（芝浦工業大学）

講演：高齢者・リハビリ用移動型脚部非固定式歩行補助機の開発

(2)　福井智史氏（香川高等専門学校）

講演：高等専門学校における技術者倫理教育の実践事例報告

(3)　坂田憲泰氏（日本大学）

講演：CFRP製アイソグリッド円筒殻の内圧特性

4.4.2　学生優秀発表賞　3件

(1)　大西英雄氏（日本大学大学院）

講演：CFRP製マンパワーボートの設計と流体測定

指導教員賞：邊　吾一氏，坂田憲泰氏（日本大学）

(2)　村上　清氏（名城大学大学院）

講演：小型直接メタノール形可視化燃料電池の試作

指導教員賞：中島公平氏，村上好生氏（名城大学）

(3)　渡邊勇輔氏（東京理科大学大学院）

講演：四球試験による食用植物油の耐焼付き性評価

指導教員賞：野口昭治氏（東京理科大学）

4.5　講習会・見学会

4.5.1　講習会「高校の先生のための3次元CAD講習会」

8月23日（月）国士舘大学情報処理センター

参加者：2名

4.5.2　講習会「製図セミナー」

8月25日(水)～27日（金）　東京都市大学工学部世田谷キャンパス設計製図室

参加者：7名

4.5.3　第17回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会（後援）

11月20日(土)　東京都教職員研修センター視聴覚ホール　発表件数18件

日本設計工学会会長賞：「六足歩行ロボットの製作：多摩科学技術高等学校」

4.5.4　講演会付見学会

2月22日（火）三菱重工業㈱殿相模原工場：ターボチャージャーの講演と工場見学

参加者20名

4.6　第2回国際会議

11月17日（水）～19日（金）東京理科大学　森戸記念館

講演数：オーラル70件（特別講演1件及びキーノートスピーチ7件を含む）

参加者数：100人（米英等海外からの参加者17名）

5.　研究調査事業

5.1　分科会活動

Ａ種　設計理論・方法論に関する研究調査分科会

Ａ種　バイオ燃料の製造・実用化トータルシステム設計に関する研究調査分科会

Ｂ種　感情と設計に関する研究調査分科会

Ｃ種　CAD/CAE研究会

5.2　第17回設計フォーラム

5月22日(土)　　早稲田大学理工学術院　西早稲田キャンパス

テーマ：感じさせる設計

(1)　「現寸図と棟梁の技」　講師：住田博夫氏（株式会社金剛組本店工事部）

(2)　「書きやすいペンの設計･開発　講師：鈴木　等氏（三菱鉛筆株式会社横浜研究開発センター）

5.3　設計オープンセミナー

設計やものづくりに関する研究や教育でご活躍の講師の方をお招きして，最新のトピックスについて話題提供頂き，十分な討論を行うとともに，参加者同士の懇親を深めた.

(1)第1回設計オープンセミナー

講演日時：2010年7月14日(水)　18:00-20:30

講演場所：工学院大学　新宿校舎　10階　A1015教室

講演題目：半導体における設計手法および顧客満足への取り組み

講師：日本電気株式会社　特別顧問 佐々木元様

司会：福田収一（スタンフォード大学）

参加者：30名

(2)第2回設計オープンセミナー

講演日時：2010年9月1日(水)　18:00-20:30

講演場所：埼玉大学東京ステーションカレッジ

講演題目：収集した民芸品，土産品のダイナミックスと音と雑談

講師：埼玉大学大学院理工学研究科　教授　田中基八郎先生

司会：綿貫啓一（埼玉大学）

参加者：29名

(3)第3回設計オープンセミナー

講演日時：2010年11月24日(水)　18:00-20:30

講演場所：工学院大学新宿校舎　28階　第4会議室

講演題目：社会システムの設計思想 ― フィンランド滞在を通じて想うこと

講師：産業技術総合研究所　芦田　極氏

司会：伊藤治（シーメンス・ジャパン）

参加者：15名

6.　支部活動

6.1　北海道支部

6.1.1　支部総会・技術交流会

2011年3月25日（金）　北海道工業大学

6.1.2　商議員会

2011年3月25日（金）　北海道工業大学

6.1.3　幹事会

2011年3月25日（金）　北海道工業大学

5月12日（水）　北海道工業大学

6.1.4　事業報告

(1)　見学会

ｉ．8 月 3 日(火)　日本高圧コンクリート株式会社殿　千歳工場　参加者 9 名

「我が国でも有数の国土建設に貢献している総業 74 年の歴史ある企業で，コンクリートパイル，ヒューム管鉄筋網の製造や橋梁工事を手掛ける伝統的な工場」

ⅱ．8 月 3 日(火)　NS 北海製線株式会社殿　苫小牧工場　参加者 9 名

「昭和 34 年設立のコンクリート製品等を束ねる各種鉄線，釘，鋼棒等を製造企業」

(2)　研究発表講演会

2011 年 3 月 25 日（金）　北海道工業大学

発表件数：7 件

(3)　特別講演会

ｉ．12 月 7 日（火）北海道工業大学

演題：産業用ロボット技術の取組・成果と今後の展望

講師：ニッテツ室蘭エンジニアリング株式会社　梅木　久氏

ⅱ．3 月 25 日(金)　北海道工業大学

演題：JISG3532 改正作業に携わり見えてきたもの

講師：NS 北海製線株式会社　小山内武則氏

演題：ミニ SL 作りから得たもの

講師：北海道工業大学　長岡正忠氏

6.1.5　会員動向

・正会員 37 名，学生員 3 名　　合計 40 名

・賛助会員企業 7 社

6.2　東北支部

6.2.1　支部総会

4 月 27 日（火）　東北大学工学部青葉記念館　　出席者：41 名（委任状含む）

6.2.2　商議員会

4 月 27 日（火）　東北大学工学部青葉記念館　　出席者：24 名（委任状含む）

6.2.3　幹事会

4 月 27 日（火）　東北大学工学部青葉記念館　　出席者：10 名

6.2.4　日本設計工学会出版部会企画編集委員会

支部担当者選出

加藤　康志郎　幹事（鶴岡工業高等専門学校）

石川　信幸　幹事（仙台高等専門学校　名取キャンパス）

6.2.5　支部 HP 開設準備

大町　竜哉　幹事（山形大学大学院理工学研究科）

6.2.6　支部役員選挙の実施　　2011 年 2 月 21 日～3 月 15 日

6.2.7　研究発表講演会及び付帯事業

(1)　研究発表講演会

日時：12 月 18 日(土)

会場：日本大学工学部 1 号館（福島県郡山市）

講演件数：29 件

(2)　学生優秀賞：2 件

①　題目：工業用センサを用いた脈波測定機器の開発・評価

発表者：遠藤真一郎君（日本大学・大学院）

連名者：横田　理氏（正員・日本大学），長尾光雄氏（正員・日本大学）

② 題目：ステントの半径方向剛性評価のための圧縮試験装置の開発

発表者：吉野大輔君（正員・東北大学・大学院）

連名者：山中　将氏（正員・一関高専），佐藤正明氏（東北大学大学院）

(3) 見学会

主催：(社) 日本設計工学会東北支部

共催：(社) 精密工学会東北支部，(社) 日本塑性加工学会東北・北海道支部東北ブロック

日時：12 月 17 日（金）

会場：① アサヒビール株式会社殿福島工場

② 東成イービー東北株式会社殿

参加者：30 名

(4) 技術交流会

日時：12 月 17 日（金）

会場：チサンホテル郡山

参加者：15 名

6.2.8 見学会

主催：(社) 日本塑性加工学会東北・北海道支部東北ブロック

共催：(社) 精密工学会東北支部，(社) 日本設計工学会東北支部

日時：8 月 4 日（水）

会場：① TDF 株式会社殿

② 東北特殊鋼株式会社殿

参加者：47 名

6.2.9 講習会

主催：(地独) 岩手県工業技術センター

共催：岩手非鉄金属加工技術研究会，岩手県接合技術研究会，岩手県材料応用技術研究会

後援：(社) 日本設計工学会東北支部

日時：9 月 17 日（金）

題名：樹脂流動解析 CAE 講習会（自動車関連新技術移転推進事業講習会）

内容：① Autodesk Moldflow Insight-Performance の基本性能と最新機能

講師：清水　元氏（オートエスク株式会社 VSS エンジニア）

② トヨタにおける樹脂流動解析 CAE の活用方法とその適用事例

講師：武藤一夫氏（静岡理工工科大学理工学部　准教授）

参加者：30 名

6.2.10 支部地域活動に対する補助事業

(1) 活動名称：エコラン競技用簡易電気自動車製作教室

主催：仙台高等専門学校　広瀬キャンパス

電気自動車エコラン競技大会実行委員会

共催：(社)日本設計工学会東北支部

支援：平成 22 年度 JST 科学舎推進事業　地域活動支援

開催日時：7 月 31 日（土），8 月 14 日（土），8 月 21 日，22 日（日）

参加者：14 名～40 名

(2)　活動名称：2010　電気自動車エコラン競技大会 in SUGO

主催：電気自動車エコラン競技大会実行委員会

共催：(社) 計測自動制御学会，(社)日本設計工学会東北支部

協賛：(社) 日本機械学会東北支部，(社) 自動車技術会東北支部，電気学会他

開催日時：8 月 21 日（土）～22 日（日）

参加者：600 名

6.3　東海支部

6.3.1　支部総会

5 月 28 日（金）　名城大学　11 号館第二会議室　　出席者：15 名

6.3.2　シンポジウム

5 月 28 日（金）　名城大学　11 号館第一会議室　　参加者：35 名

テーマ“地球環境とエネルギー”

(1)「低酸素社会を設計する」

京都大学　教授　松岡　譲氏

(2)「2050 年を見据えた太陽電池技術開発」

東京工業大学　教授　小長井誠氏

(3)「次世代高性能蓄電システム技術の開発」

三重大学　教授　武田保雄氏

(4)「低酸素社会に向けての石炭火力発電技術」

中部電力株式会社　田中　雅氏

6.3.3　特別講演と見学会

10 月 29 日（金）　武藤工業株式会社殿諏訪工場　　参加者：20 名

特別講演「シルクの歴史と技術」　信州大学　教授　森川英明氏

6.3.4　見学会

第 70 回見学会　7 月 8 日（金）　　鉄道総合技術研究所風洞技術センター　参加者：24 名

第 71 回見学会　3 月 11 日（金）　　株式会社ジェイテクト殿刈谷工場　　参加者：20 名

6.3.5　協賛事業

(1)　見学会・特別講演会　　5 月 21 日（金）　　参加者：45 名

・工場見学：オーエスジー株式会社殿大池工場

・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　共催

(2)　第 145 回見学会　　6 月 18 日（金）　　参加者：39 名

・工場見学：三菱重工業株式会社殿名古屋航空宇宙システム製作所飛島工場

・特別講演：「H-ⅡB プロジェクトの紹介」

・日本機械学会東海支部　主催

(3)　第 146 回見学会　　9 月 16 日（金）　　参加者：36 名

・工場見学：株式会社浅沼技研殿

・特別講演：「世界に適用する“ものづくり”を目指して」

・日本機械学会東海支部　主催

(4)　第 89 回講演見学会　　9 月 21 日（金）　　参加者：45 名

・見学　自動車館

・講演「トヨタテクノミュージアム自動車館見学と自動車に於ける熱技術」
・化学工学会東海支部　主催

(5)　見学会・特別講演　　11 月 12 日（金）　　参加者：19 名
・工場見学　NTT 株式会社殿産機技術開発センター
・特別講演
①「工作機械の動向と主軸軸受の適用技術」
②「セラミック内輪高速円筒ころ軸受の開発」
・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　共催

(6)　第 112 回講習会　7 月 6 日（火）　　参加者：103 名
・「科学英語の書き方とプレゼンテーション」
・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　主催

(7)　第 113 回講習会　10 月 29 日（金）　　参加者：84 名
・「科学英語の書き方とプレゼンテーション」
・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　主催

(8)　第 114 回講習会　1 月 21 日（金）　　参加者：60 名
・「福祉機械の現状と将来動向」
・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　主催

(9)　第 6 回座談会　11 月 24 日(水)　　参加者：27 名
・「和の科学･技術・技能から学ぶ」
・精密工学会東海支部・日本機械学会東海支部　共催

6.3.6　役員会
・商議員会　　2 回開催
・幹事会　　4 回開催

6.4　北陸支部

6.4.1　支部総会
6 月 26 日（土）　富山県立大学　　出席者：37 名（内委任状 18 名）

6.4.2　商議員会
6 月 26 日（土）　富山県立大学　　出席者：29 名（内委任状 11 名）

6.4.3　幹事会
6 月 26 日（土）　富山県立大学　　出席者：6 名
12 月 18 日（土）　IT ビジネスプラザ武蔵　　出席者：5 名

6.4.4　第 35 回特別講演会
6 月 26 日（土）　富山県立大学　　出席者：43 名
題目：疲労設計における最近の話題
講師：塩澤和章氏　富山大学教授

6.4.5　講演・講習・見学会

(1)　北陸支部研究発表講演会
6 月 26 日（土）　富山県立大学　　発表件数：24 件
参加登録：50 名

(2)　第 83 回講演会・見学会
12 月 1 日（水）　中越パルプ工業株式会社殿高岡工場　　参加者：28 名

講演：「製紙産業の状況と紙･パルプ製造に関して」
講師：中越パルプ工業株式会社　開発部長　清水喜作氏

(3)　特別企画討論会

12 月 11 日（土）富山県立大学　　参加者：45 名
「学生フォーミュラカー製作を通じたものづくり討論会」
共催：日本機械学会北陸信越支部
内容：大学生フォーミュラチームの合同公開討論会

(4)　第 84 回講演会・見学会

2011 年 3 月 4 日（金）　金沢工業大学扇が丘キャンパス　参加者：10 名
金沢工業大学ものづくり研究所
「ハイテク夢工房プロジェクト・夢工房プロジェクトの紹介」

(5)　協賛事業

11 月 20 日（土）　金沢大学角間キャンパス　参加者：13 名
「CAE 技術者のための計算力学講習会」
講演：計算力学技術者に必要とされる有限要素法の基礎知識について
講師：金沢大学　理工研究域機械工学系　教授　坂本二郎氏

(6)　その他

学生交流会　6 月 26 日（土）　富山県立大学　参加者：40 名

6.5　関西支部

6.5.1　支部総会

4 月 17 日（土）　大阪電気通信大学　出席者：15 名
講演会「健康・医療・介護産業と技術者の現状と展望―人材育成の立場から―」
講師：関西大学システム理工学部　教授　大場謙吉氏
懇談会：大阪電気通信大学　新学生会館 3Ｆ食堂　出席者：14 名

6.5.2　商議員会

第 134 回　4 月 17 日（土）　大阪電気通信大学　出席者：14 名
第 135 回　9 月 11 日（土）　大阪電気通信大学　出席者：10 名
第 136 回　1 月 22 日（土）　大阪電気通信大学　出席者：　9 名

6.5.3　第 159 回研究会

6 月 5 日（土）　大阪産業大学梅田サテライトキャンパス　出席者：30 名
演題：「新 JIS B0001　機械製図」
講師：東京都市大学　教授　平野重雄氏
研究発表件数：6 件

6.5.4　第 160 回研究会

9 月 11 日（土）　大阪電気通信大学　出席者：14 名
演題 1：「熱処理工程設計のための数値シミュレーション―材料特性と材料挙動の数値モデル」
講師：住友金属工業株式会社総合研究所　岡村一男氏
演題 2：「機械式腕時計へのリソグラフィ技術の応用」
講師：セイコーインスツル株式会社研究開発センター　光岡靖幸氏

演題 3：「消費者に求められるものづくり」

講師：日産スチール工業株式会社　代表取締役　西部清志氏

6.5.5　第 84 回見学会

10 月 15 日(金)　大阪市立デザイン研究所　出席者：10 名

講演：「産学連携プロジェクトとデザイン教育」

講師：大阪市立デザイン研究所　教授　細野氏

6.5.6　第 161 回研究会

12 月 21 日(火)　原子燃料工業株式会社殿熊取事業所見学　　出席者：11 名

6.5.7　第 162 回研究会

2011 年 1 月 22 日(土)　　大阪電気通信大学　　出席者：14 名

(1)　「産業用中小型ディーゼルエンジンの技術の変遷」

講師：大阪産業大学非常勤講師（ヤンマーエンジン設計塾塾長）山内和行氏

(2)　「円すいころ軸受の発明と実用化，国内初の量産と浸炭技術確立」

講師：株式会社ジェイテクト　研究開発センター　松山博樹氏

(3)　「生活支援工学における設計事例紹介とそのコンセプト」

講師：関西大学システム理工学部　倉田純一氏

6.5.8　関西支部研究発表講演会

11 月 20 日（土）　大阪電気通信大学　　出席者：42 名

発表件数　22 件

6.6　中国支部

6.6.1　支部総会

6 月 5 日（土）　広島工業大学広島校舎　　出席者：55 名（内委任状 31 名）

6.6.2　商議員会

6 月 5 日（土）　広島工業大学広島校舎　　出席者：13 名

6.6.3　幹事会

6 月 5 日（土）　広島工業大学広島校舎　　出席者：13 名

12 月 11 日（土）　広島工業大学広島校舎　　出席者：11 名

6.6.4　特別講演会

6 月 5 日（土）　広島工業大学広島校舎　　参加者：23 名

講演：「3D-CAD と設計製図教育」

講師：日本大学生産工学部　准教授　今淵正恒氏

6.6.5　第 27 回研究発表講演会

6 月 5 日（土）　広島工業大学広島校舎　　発表件数：12 件　　参加者：41 名

(1)　伝達関数を用いた工作機械の熱変形予測に関する研究

広島工大(院)　○榊原宏昌，広島工大　鈴村文寛・片山剛之丞

(2)　機械設計教材用「エコドライブ搬送台車」の設計･製作

（等駆動力のばね―リンク装置の場合）

呉高専　灘野宏正・中迫正一・○大東由喜夫・山田千鶴・田村忠士

㈱アドウィン　答島一成

その他 10 件の発表があった.

6.6.6　第 34 回講習会　　12 月 11 日（土）　　広島工業大学広島校舎　　参加者：16 名

テーマ「医工学研究とものづくり」

(1)　生殖補助医療用デバイス開発から見えてくる医工学分野に於ける「ものづくり」戦略

講師：岡山大学　異分野融合先端研究コア　特任助教　松浦宏治氏

(2)　細胞の刺激応答解析手法の開発

講師：広島工業大学工学部　准教授　山田　章氏

6.6.8　第 72 回見学会　　1 月 21 日(月)　　参加者：14 名

デルタ工業株式会社殿本社工場

6.7　四国支部

6.7.1　支部総会

2011 年 3 月 22 日（火）　新居浜工業高等専門学校　出席者：21 名（内委任状 13 名）

6.7.2　研究発表講演会

(1)　特別講演会

2011 年 3 月 22 日（火）　新居浜工業高等専門学校　出席者：20 名

演題：中小企業における技術開発について

講師：寺町英樹氏　株式会社テラマチ　専務取締役

(2)　研究発表講演会・技術交流会

2011 年 3 月 22 日（火）　新居浜工業高等専門学校　出席者：24 名

発表件数：16 件

6.7.3　平成 22 年度秋季研究発表講演会

10 月 23 日（土）高知工科大学教育研究棟　　出席者：40 名

特別講演：「ジェットエンジンの起源と将来」

講師：高知工科大学システム工学群　教授　筒井康賢氏

6.7.4　見学会

10 月 22 日（金）高知工科大学，セイレイ工業株式会社殿　　参加者：20 名

6.7.5　技術交流会

10 月 22 日（金）ホリデイ・イン高知　　参加者：48 名（内学生 8 名）

6.7.6　技術講演会

9 月 1 日（水）　徳島大学工学部　　出席者：30 名

テーマ：振動・騒音を考慮した設計問題

演題 1：現場で経験する振動・騒音問題について

講師：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部　教授　石原国彦氏

演題 2：振動を視点とした設計事例

講師：香川高等専門学校　教授　岩田　弘氏

演題 3：実車輌・3 次元道路データによる運転シミュレーション装置の開発

講師：岡山県立大学情報工学部　教授　西山修二氏

演題 4：フランジ付ナットの変形シミュレーション

講師：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部　講師　長町拓夫氏

6.7.7　見学会

9 月 29 日(水)　株式会社山崎技研殿　　参加者：18 名

6.8　九州支部

6.8.1　支部総会

6月5日（土）　クローバープラザ（福岡県春日市）　出席者：40名（内委任状28名）

6.8.2　商議員会

6月5日（金）

6.8.3　幹事会

3回開催

6.8.4　研究発表講演会　　発表4件

6月5日（土）　クローバープラザ（福岡県春日市）　　出席者22名

6.8.5　研究調査事業

「3D－CADを用いた設計製図教育に関する研究会」

主査：久留米工業高等専門学校　教授　松井 悟 氏

幹事：久留米工業高等専門学校　教授　和泉直志氏

九州大学大学院芸術工学研究院　准教授　竹之内和樹氏

第1回　6月5日　久留米工業高等専門学校　　話題提供3件

第2回　9月27日　久留米工業高等専門学校　　技術講演1件，事前質問による討論

第3回　2011年3月5日　有明工業高等専門学校　話題提供2件，施設見学

6.8.6　共催事業―表記並びに研究調査事業との関係

3D－CAD公開講座（第7回）　7月23日(金)　久留米工業高等専門学校

3D－CAD/CAE公開講座（第8回）　11月29，30日　久留米工業高等専門学校

公差設計インテグラルセミナー公開講座　12月2，3日　久留米工業高等専門学校

教育GPフォーラム（第4回）　12月8日（水）　久留米工業高等専門学校

教育GPフォーラム（第5回）　3月22日（火）　久留米工業高等専門学校

6.8.7　技術交流会

6月5日（土）　於　express café　　参加者：19名

収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

社団法人　日本設計工学会

Ⅰ収入の部　　単位：円

科　　目	公益事業							
	出版事業	集会事業	研究調査	表彰・周年	支部事業	小計	法人会計	合計
1. 特定資産運用益						0	1,395,229	1,395,229
2. 会費･入会金収入					490,280	490,280	9,397,450	9,887,730
3. 出版事業	4,551,000					4,551,000		4,551,000
4. 集会事業		1,093,500			1,417,000	2,510,500		2,510,500
5. 研究調査事業			241,000			241,000		241,000
6. 国際会議収入				3,941,702		3,941,702	0	3,941,702
7. 雑収入					331,474	331,474	144,725	476,199
8. 本部交付金					1,664,000	1,664,000		1,664,000
当期収入合計 (A)	4,551,000	1,093,500	241,000	3,941,702	3,902,754	13,729,956	10,937,404	24,667,360

Ⅱ支出の部

科　　目	公益事業							
	出版事業	集会事業	研究調査	表彰・周年	支部事業	小計	法人会計	合計
1. 事業費	7,138,330	1,197,884	270,212	6,380,589	2,468,109	17,455,124	1,664,000	19,119,124
1.1　出版事業	7,138,330					7,138,330		7,138,330
1.2　集会事業		1,197,884			2,285,949	3,483,833		3,483,833
1.3　研究調査事業			270,212		182,160	452,372		452,372
1.4　支部交付金						0	1,664,000	1,664,000
1.5　武藤栄次賞				770,962		770,962	0	770,962
1.6　国際会議				5,609,627		5,609,627		5,609,627
2. 管理費	446,327	93,120	86,920	0	1,550,149	2,176,516	8,846,402	11,022,918
2.1　給与等					269,000	269,000	2,177,940	2,446,940
2.2　会議費	124,350	33,000	37,920		99,365	294,635	282,978	577,613
2.3　旅費交通費	112,000	35,120	49,000		596,210	792,330	924,240	1,716,570
2.4　通信運搬費	169,340				113,340	282,680	849,311	1,131,991
2.5　消耗品費	19,237	20,000			11,183	50,420	308,659	359,079
2.6　印刷製本費					114,885	114,885	348,143	463,028
2.7　什器備品費						0	0	0
2.8　賃借料					13,793	13,793	2,317,350	2,331,143
2.9　雑費	21,400	5,000	0		332,373	358,773	1,485,117	1,843,890
2.10　光熱費						0	110,664	110,664
2.11　修繕費						0	42,000	42,000
3. その他支出						0	840,000	840,000
当期支出合計 (C)	7,584,657	1,291,004	357,132	6,380,589	4,018,258	19,631,640	11,350,402	30,982,042
当期支出差額 (A)－(C)	−3,033,657	−197,504	−116,132	−2,438,887	−115,504	−5,901,684	−412,998	−6,314,682

注記

1. 資金の範囲：現金預金及び定期預金
2. 2.9雑費に会計事務所臨時顧問料630,000円並びに均等割都民税210,000を含む
3. その他の支出：経理的支援に関する謝金

貸借対照表

平成23年3月31日現在

社団法人　日本設計工学会

Ⅰ　資産の部　　単位：円

科　　目	金　　額		
1. 流動資産			
現金預金	13,258,683		
流動資産合計		13,258,683	
2. 固定資産			
2.1　特定資産	206,403,500		
周年記念事業	32,000,000		
武藤栄次賞表彰事業	174,403,500		
2.2　退職積立金	3,000,000		
退職積立金	3,000,000		
2.3　その他固定資産	454,440		
敷　金	378,000		
電話加入権	76,440		
固定資産合計		209,857,940	
資産の部合計			223,116,623

Ⅱ負債の部

科　　目	金　　額		
流動負債			
前受金（2011年度年会費正会員334名他）	4,436,800		
流動負債合計		4,436,800	
負債の部合計			4,436,800

Ⅲ正味財産の部

科　　目	金　　額		
正味財産			218,679,823

負債及び正味財産合計　223,116,623

財産目録

平成23年3月31日現在

社団法人　日本設計工学会　　単位：円

科　　目	金　　額			備　　考
Ⅰ　資産の部				
1．流動資産				
現金手許有高	189,879			
普通預金	11,164,755			
みずほ銀行世田谷	2,085,632			
みずほ銀行高田馬場	2,038,648			
三菱東京UFJ銀行高田馬場	2,482,256			
横浜銀行新宿	913,566			
支部預金	3,644,653			注1
郵便振替口座	1,904,049			
流動資産合計		13,258,683		
2．固定資産				
2.1　特定資産	206,403,500			
周年記念事業	32,000,000			
定期預金　三菱東京UFJ銀行高田馬場	15,000,000			
定期預金　みずほ銀行世田谷	17,000,000			
武藤栄次賞褒賞事業	174,403,500			
定期預金　横浜銀行新宿支店	28,000,000			
定期預金　みずほ銀行高田馬場	15,003,500			
有価証券　第59回利付国債（5年）	39,400,000			注2
有価証券　第69回利付国債（5年）	45,000,000			注3
有価証券　第86回利付国債（5年）	40,000,000			注4
有価証券　第605回東京都公募公債	7,000,000			注5
2.2　退職積立金	3,000,000			
定期預金　みずほ銀行高田馬場	3,000,000			
2.3　その他固定資産	454,440			
敷金	378,000			
電話加入権	76,440			
固定資産合計		209,857,940		
資産合計			223,116,623	
Ⅱ負債の部				
流動負債				
前受金	4,436,800			注6
負債合計		4,436,800		
Ⅲ正味財産の部				
正味財産			218,679,823	

注：

1. 支部預金：北海道・東北・東海・北陸・関西・中国・四国・九州の8支部運営費
2. 評価金額：39,498,421円　償還日2011/06/20
3. 評価金額：45,559,935円　償還日2012/12/20
4. 評価金額：40,369,480円　償還日2014/09/20
5. 評価金額：7,199,192円　償還日2014/01/24
6. 2011年度年会費：正会員334名他
7. 2010年度年会費未納者65名（正会員）分¥546,000円は、未収金として計上していない.

正味財産増減書

平成22年４月１日～平成23年3月31日

社団法人　日本設計工学会　　単位：円

科　目	当年度	前年度	増　減	備考
Ⅰ経常増減の部				
1. 経常収益				
1.1　特定資産運用益	1,395,229	1,343,788	51,441	
1.2　会費･入会金	9,887,730	10,267,675	-379,945	
1.3　出版事業	4,551,000	5,245,500	-694,500	
1.4　集会事業	2,510,500	2,557,700	-47,200	
1.5　研究調査事業	241,000	177,000	64,000	
1.6　寄付金	0	50,000,000	-50,000,000	
1.7　雑収入	476,199	382,342	93,857	
1.8　本部交付金	1,664,000	1,685,000	-21,000	
1.9　国際会議	3,941,702	0	3,941,702	注1
経常収益計	24,667,360	71,659,005	-46,991,645	
2. 経常費用				
2.1　事業費	19,119,124	12,949,692	6,169,432	
(1) 出版事業	7,138,330	7,072,509	65,821	
(2) 集会事業	3,483,833	3,396,917	86,916	
(3) 研究調査事業	452,372	325,645	126,727	
(4) 褒賞事業	770,962	469,621	301,341	注2
(5) 周年事業	5,609,627	0	5,609,627	注3
(6) 支部交付金	1,664,000	1,685,000	-21,000	
2.2　管理費	11,862,918	11,328,431	534,487	
(1) 給与	2,446,940	2,455,940	-9,000	
(2) 会議費	577,613	704,416	-126,803	
(3) 旅費交通費	1,716,570	1,737,064	-20,494	
(4) 通信運搬費	1,131,991	1,104,433	27,558	
(5) 消耗品費	359,079	309,214	49,865	
(6) 印刷製本費	463,028	410,747	52,281	
(7) 什器備品費	0	91,098	-91,098	
(8) 賃借料	2,331,143	2,333,420	-2,277	
(9) 雑費	1,843,890	1,241,235	602,655	注4
(10) 光熱費	110,664	74,714	35,950	
(11) 修繕費	42,000	66,150	-24,150	
(12) その他の支出	840,000	800,000	40,000	注5
3. 減価償却費	0	0	0	
経常費用計	30,982,042	24,278,123	6,703,919	
当期経常増減額	-6,314,682	47,380,882	-53,695,564	
Ⅱ経常外増減の部				
当期正味財産増減額	-6,314,682	47,380,882	-53,695,564	
正味財産期首残高	224,994,505	177,613,623	47,380,882	
正味財産期末残高	218,679,823	224,994,505	-6,314,682	

注：
注1：第2回国際会議参加登録費
注2：武藤栄次賞優秀学生賞副賞他
注3：第2回国際会議
注4：会計事務所顧問料、均等割都民税他
注5：経理的支援に関する謝金

監　査　報　告　書

公益社団法人 日本設計工学会

会　長　勝田 正文　殿

平成２３年４月２７日

公益社団法人 日本設計工学会

監　事　下坂陽男　印

監　事　益島和幸　印

私たちは，平成２２年４月１日から平成２３年３月３１日までの平成２２会計年度における会計及び業務の監査を行い，次のとおり報告する．

1. 監査の方法の概要
   (1) 会計監査について，帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した．
   (2) 業務監査について，理事会及びその他の会議に出席し，理事から業務の報告を聴取し，関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した．
2. 監査意見
   (1) 収支計算書，正味財産増減計算書，貸借対照表及び財産目録は，会計帳簿の記載金額と一致し，法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める．
   (2) 事業報告書の内容は真実であると認める．
   (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める．

以上

2011 年度事業計画書

公益社団法人　日本設計工学会

1. 「通常総会」,「理事会」,「各部会」,「各委員会」の開催と運営

2. 会誌『設計工学』第 46 巻 4 号から第 47 巻 3 号の発行

3. 会誌作りを通じた設計工学会の新分野・アイデンティティーのシーズを作る

4. 平成 23 年度春季研究発表講演会
   日本大学生産工学部　津田沼キャンパス　　5 月 27 日（金）～28 日（土）

5. 第 18 回設計フォーラム
   日本大学生産工学部　津田沼キャンパス　　5 月 27 日（金）
   テーマ『身近なモビリティの設計』

6. 平成 23 年度秋季研究発表講演会
   大阪電気通信大学工学部　　10 月 21 日（金）～22 日（土）

7. 講習会『製図教育セミナー』の開催　　8 月（予定）

8. 研究調査部会分科会
   Ａ種分科会「感情と設計に関する研究調査分科会」
   設置期間：2011 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
   Ｂ種分科会「3D 製図（単面投影による）の標準化に関する研究調査分科会」
   設置期間：2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日

9. 設計オープンセミナーの開催　　年 4 回の開催
   演題：「人の感覚と活字のデザイン」
   演題：「ものづくりのこころ―設計では何の機能を創るのか―」他

収支予算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

公益社団法人　日本設計工学会

Ⅰ収入の部　　単位：円

科　　目	公益事業							
	出版事業	集会事業	研究調査	表彰・周年	支部事業	小計	法人会計	合計
1. 特定資産運用益						0	1,300,000	1,300,000
2. 会費･入会金収入					439,720	439,720	9,581,000	10,020,720
3. 出版事業	4,500,000					4,500,000		4,500,000
4. 集会事業		1,360,000			651,500	2,011,500		2,011,500
5. 研究調査事業			430,000			430,000		430,000
6. 寄付金収入					10,000	10,000		10,000
7. 雑収入					285,900	285,900	130,000	415,900
8. 本部交付金					1,641,000	1,641,000		1,641,000
当期収入合計（A）	4,500,000	1,360,000	430,000	0	3,028,120	9,318,120	11,011,000	20,329,120

Ⅱ支出の部

科　　目	公益事業								
	出版事業	集会事業	研究調査	表彰・周年	支部事業	小計	法人会計	合計	
1. 事業費	7,100,000	1,210,000	629,000	1,300,000	1,860,000	12,099,000	1,641,000	13,740,000	
1.1　出版事業	7,100,000					7,100,000		7,100,000	
1.2　集会事業		1,210,000			1,595,000	2,805,000		2,805,000	
1.3　研究調査事業			629,000		265,000	894,000		894,000	
1.4　支部交付金						0	1,641,000	1,641,000	
1.5　表彰・周年				1,300,000		1,300,000	0	1,300,000	注1
2. 管理費	890,000	164,000	155,800	0	2,016,150	3,225,950	7,782,000	11,007,950	
2.1　給与等					321,000	321,000	2,180,000	2,501,000	
2.2　会議費	160,000	72,000	76,800		184,600	493,400	300,000	793,400	
2.3　旅費交通費	160,000	72,000	64,000		657,000	953,000	850,000	1,803,000	
2.4　通信運搬費	170,000	10,000	5,000		240,000	425,000	750,000	1,175,000	
2.5　消耗品費			5,000		62,450	67,450	250,000	317,450	
2.6　印刷製本費					240,000	240,000	250,000	490,000	
2.7　什器備品費						0	0	0	
2.8　賃借料					32,600	32,600	2,316,000	2,348,600	
2.9　雑費	400,000	10,000	5,000		278,500	693,500	700,000	1,393,500	注2
2.10　光熱費						0	120,000	120,000	
2.11　修繕費						0	66,000	66,000	
3. 予備費					0	0	0	0	
当期支出合計（C）	7,990,000	1,374,000	784,800	1,300,000	3,876,150	15,324,950	9,423,000	24,747,950	
当期支出差額（A)-（C）	-3,490,000	-14,000	-354,800	-1,300,000	-848,030	-6,006,830	1,588,000	-4,418,830	

注記

資金の範囲：現金預金及び定期預金

注1：武藤栄次賞副賞：800,000,ICDES2010英文ジャーナル500,000

注2：出版部会400,000は校閲者への謝礼用図書カード購入費

公益社団法人　日本設計工学会定款

第１章　総　則

（名　称）
第１条　この法人は,公益社団法人　日本設計工学会(以下「本会」という）と称する.

2　本会の英文名は，Japan Society for Design Engineering と称する.

（事務局）
第２条　本会は，主たる事務所を東京都新宿区に置く.

（支　部）
第３条　本会は，理事会の議決を経て，必要の地に支部を置くことができる.

第２章　目的及び事業

（目　的）
第４条　本会は，設計工学に関する研究調査の促進・向上，知識の交換及びその教育の振興・体系化並びに会員相互間及び関連学協会との連絡・提携を図り,もってわが国の学術・技術の発展に寄与することを目的とする.

（事　業）
第５条　本会は前条の目的を達成するため，次の公益目的事業を行う.
(1)　設計工学及びその教育に関する研究調査
(2)　研究発表会，研究会，講演会，講習会，見学会等の開催
(3)　学会誌，学術図書及び資料の刊行
(4)　学術に関する表彰，奨励及び助成
(5)　内外関連学協会との連絡及び協力
(6)　その他前条の目的を達成するために必要な事業

2　本会は本邦ならびに海外で事業を行う.

第３章　会　員

（会員の種類）
第６条　本会の会員は，次のとおりとする.
(1)　正 会 員　本会の目的に賛同して入会した個人
(2)　賛助会員　本会の目的に賛同し，その事業を積極的に援助する団体を代表する個人
(3)　名誉会員　本会に対し,特に功労のあった者のうちから,総会の議決をもって推薦された個人

2　前項の正会員及び賛助会員をもって，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する社員とする.

（入　会）
第７条　会員として入会しようとする個人又は団体は，総会で定めた入会金及び会費を添えて入会申込書を提出し,理事会の承認を得なければならない.

2　　名誉会員に推薦された者は，入会の手続きを要せず，本人の承諾をもって会員となるものとする.

（入会金及び会費）
第８条　本会の入会金及び会費は，別に定める.

2　名誉会員は，入会金及び会費を納めることを要しない.
3　会員は,会費を所定の期日までに納入しなければならない.
4　既納の入会金及び会費は，いかなる理由があっても返還しない.

（会員の権利）
第９条　会員は，本会が刊行する学会誌の配布を受けるほか,本会の行う全ての事業に参加する資格を有する.

2　正会員及び賛助会員は，この定款及び別に定めるところにより，役員の選挙権及び被選挙権を有する.

（任意退会）
第10条　会員は，理事会において定める退会届を提出することにより，任意にいつでも退会することができる.

（除　名）
第11条　会員が次の各号の一に該当するときは，総会の議決により，これを除名することができる.ただし，総会は，議決の前に弁明する機会を与えなければならない.
(1)　会費を１年以上滞納したとき
(2)　会員としての義務に違反したとき
(3)　本会の定款に違反したとき
(4)　本会の名誉を傷つけ，又は目的に違反する行為があったとき

2　　会長は，会員を除名したときは，除名した会員に対し,総会の開催１週間前までに理由を付してその旨を通知しなければならない.

（会員の資格喪失）
第12条　会員は，10条，11条のほか次の事由によって，その資格を喪失する.
(1)　退　会
(2)　後見開始若しくは保佐開始の審判を受けたとき又は破産手続きの開始の決定がなされたとき.
(3)　死亡若しくは失跡宣告又は賛助会員である団体の解散
(4)　除　名

第４章　役員及び職員

（役　員）
第13条　本会には，次の役員を置く.
(1)　理　事　15名以上20名以内
(2)　監　事　２名

2　　理事のうち１名を会長とし，３名を副会長とする.
3　　前項の会長，副会長をもって，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とし，会長，副会長以外の理事をもって同法律第91条１項に規定する業務執行理事（理事会の決議により法人の業務を執行する理事として選定された理事をいう.）とする.

（役員の選任）
第14条　役員は，総会で正会員の中から選任し，会長及び副会長は，理事会の互選による.

2　監事は，他の役員を兼ねることができない.

（理事の職務）
第15条　　理事は理事会を構成し，法令及びこの定款の定めるところにより，総会の権限に属する事項以外の事項を議決し,職務を執行する.

2　会長は，本会の業務を総理し，本会を代表する.
3　副会長は，会長を補佐し，会長に事故あるとき又は欠けたときは，次の会長が選任されるまでの間その職務を代行する.
4　会長職務を代行する副会長は，可及的速やかに臨時理事会を開催し，新たな会長を選任する.

5　業務執行理事は，理事会において別に定めるところにより本会の業務を分担執行する．

（監事の職務及び権限）
第16条　　監事は，理事の職務執行及び理事会の決定を監査し，法令で定めるところにより，監査報告書を作成しなければならない．

2　　監事は，いつでも，理事あるいは使用人に対して事業の報告を求め，本会の業務及び財産の状況を調査することができる．
3　　監事は，総会及び理事会に出席し，必要があるときには意見を述べなければならない．
4　　監事は，理事が不正の行為をし，若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき，又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めたときは，遅滞なく，その旨を理事会に報告しなければならない．
5　　監事は，前号の報告を行うために，会長に対し理事会の招集を請求することができ，会長は可及的速やかに理事会を招集しなければならない．
6　　監事は，理事が総会に提出しようとする議案，書類を事前に精査し，重大な不正の認められるときは，これを総会に報告しなければならない．
7　　監事は，監事に認められる法令上の権限を行使することができる

（役員の任期）
第 17 条　本会の役員の任期は，選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結のときまでとする．再任を妨げない．

2　補欠又として選任された役員の任期は，前任者又は現任者の残任期間とする．
3　役員は，その任期満了後，定款上の定数を下回る場合には，後任者が就任するまでは，なお，その職務を行う．

（役員の解任）
第 18 条　役員が次の各号の一に該当するときは，総会の議決により解任することができる．
(1)　心身の故障のため職務の執行に耐えないと認められるとき．
(2)　職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき．

（役員の報酬）
第 19 条　本会の役員は，無報酬とする．ただし，会務のために要した費用は，支弁する．

（理事の競業及び利益相反取引の制限）
第20条　　理事が次の各号の一に該当する取引を行うときは，その取引について重要な事実を開示し，理事会の承認を得なければならない．
(1)　自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引
(2)　自己又は第三者のためにする本会との事業
(3)　本会がその理事の債務を保証すること
(4)　本会とその理事との利益が相反する，他のものとの取引

2　理事会の承認を得て前項の取引をした理事は，その取引の重要な事実を遅滞なく理事会に報告しなければならない．

（損害賠償責任の免除）
第21条　　本会は，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 114 条の規定により，任務を怠ったことによる理事又は監事の損害賠償責任を，法令の限度において理事会の議決によって免除することができる．

2　本会は，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 115 条第 1 項の規定により，外部理事又は外部監事との間に，任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる．ただし，当該契約に基づく責任の限度は，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項で定める最低責任限度額とする．

（職　員）
第 22 条　本会の事務を処理するため事務局を設け，事務局長 1 名を含む所要の職員を置く．

2　事務局長その他の職員は，理事会が任免する．
3　職員は，有給とする．
4　事務局の組織，内部管理に必要な規則その他については，理事会が定める．

第 5 章　総　会

（総会の構成）
第 23 条　総会は，本定款第 6 条第 1 号の正会員及び賛助会員をもって組織する．

2　　前項の総会をもって，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 35 条に規定する社員総会とする．

（総会の招集）
第 24 条　通常総会は，毎会計年度終了後 3 箇月以内に，理事会の議決に基づき，会長が招集する．

2　臨時総会は，理事会が必要と認めたとき，会長が招集する．また，正会員及び賛助会員現在数 5 分の 1 以上から会議の目的である事項を示した書面によって請求のあったときは，会長は，その請求があった日から 20 日以内に臨時総会を招集しなければならない．
3　総会を招集する場合には，理事会は次の事項を議決しなければならない．
(1)　総会の日時及び場所
(2)　総会の目的である事項（当該事項が役員等の選任，事業の全部の譲渡，定款の変更，合併のいずれかであるときは，その議案の概要を含む）
(3)　総会に出席しない会員が書面で議決権を行使することができるときは，その旨，総会参考書類に記載すべき事項及び議決権行使の期限
(4)　代理人による議決権の代理行使について，委任状その他の代理権を証明する方法及び代理人の数その他代理人による議決権の行使に関する事項
4　総会の招集は，少なくとも 14 日以前に，前号に掲げる内容を記載した書面により，その通知をする．

（総会の議長）
第25条　　通常総会の議長は，会長とし，臨時総会の議長は，会議のつど出席正会員の互選で定める．

（総会の議決事項）
第 26 条　総会は，次の事項及び一般社団法人及び一般財団法人法に関する法律に規定する事項に限り議決する．
(1)　会員の除名
(2)　理事及び監事（以下「役員」という）の選任及び解任並びに理事の任期の短縮
(3)　一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 113 条に規定する役員の責任の一部免除
(4)　定款の変更
(5)　事業の全部又は一部の譲渡
(6)　解散及び継続
(7)　合併契約の承認
(8)　第 44 条に規定する残余財産の帰属の決定
(9)　役員が総会に提出し，又は提供した資料を調査する者の

選任
(10)　会員による招集の請求により招集された総会における，本会の業務及び財産の状況を調査する者の選任
(11)　入会金及び会費
(12)　事業報告並びに計算書類及び財産目録の承認

2　総会は，前項第 9 号又は 10 号に掲げる事項を議決する場合を除き，あらかじめ総会の目的として通知された事項以外の事項について議決することはできない．

（総会の定足数等）
第 27 条　総会は，正会員及び賛助会員の過半数の者が出席しなければ，議事を開き，議決することができない．ただし，当該議事につき，あらかじめ書面をもって意思を表示した者又は評決の委任者は，出席とみなす．

2　総会の議事は，法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除くほか，正会員及び賛助会員の過半数をもって決する．

第 6 章　理事会

（理事会の設置）
第 28 条　本会に，理事会を設置する．

2　理事会は，すべての理事で組織する．

（理事会の権限）
第 29 条　理事会は，次の事項を議決する．
(1)　総会の招集に関する事項
(2)　会長，副会長の選任及び解任
(3)　重要な財産の処分及び譲り受け
(4)　多額の借財
(5)　業務執行理事の選定及び解職
(6)　重要な使用人の選任及び解任
(7)　従たる事務所その他の重要な組織の設置，変更，廃止
(8)　理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の整備
(9)　一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 114 条第 1 項に規定する損害賠償責任の一部免除
(10) その他本会の業務の執行に関する事項

（理事会の招集等）
第30条　　理事会は，年 4 回以上会長が招集する．

2　　理事会の議長は，会長とする．
3　　臨時理事会は，次の各号の一に該当する場合に開催する．
(1)　会長が必要と認めたとき
(2)　理事から会議の目的である事項を示した書面によって請求があったとき
(3)　前号の場合，請求のあった日から 5 日以内に臨時理事会の招集の通知が発せられない場合に，その請求をした理事が招集したとき
(4)　第 16 条第 5 項の規定により，監事から会長に招集の請求があったとき，又は監事が招集したとき
4　理事会を招集するときは，会長は，理事会の日の 1 週間前までに，各理事及び各監事に対し，理事会の目的である事項並びに日時及び場所，その他必要な事項を記載した文書により通知を発しなければならない．

（理事会の定足数等）
第 31 条　理事会は，理事現在数の過半数の者が出席しなければ，議事を開き，議決することができない．

2　理事会の議事は，この定款に別段の定めがある場合を除くほか，議決に加わることができる理事の過半数が出席し，その過半数をもって決する．

（会員への通知）
第 32 条　本会の会議の議事の要領及び議決した事項は，会員に通知する．
（議決の省略）
第 33 条　会長が理事会の議決の目的である事項について提案した場合において，理事の全員が提案された議案につき，書面により同意の意思表示をしたときは，その議案を可決する理事会の議決があったものとする．ただし，監事がその提案に異議を述べたときはこの限りでない．

（議事録）
第 34 条　本会の会議の議事については，議事録を作成し，会長ならびに監事はこれに署名し，又は記名押印の上，これを保存する．

第 7 章　資産及び会計

（公益目的取得財産残額の処分）
第 35 条　公益認定の取り消し処分を受けた場合において，公益法人認定法第 30 条第 2 項に規定する公益目的取得財産残額があるときは，その取り消しの日から 1 箇月以内に類似の事業を目的とする他の公益社団法人又は公益財団法人に贈与しなければならない．

2　本会が合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益社団法人又は公益財団法人であるときを除く．）において，公益法人認定法第 30 条第 2 項に規定する公益目的取得財産残額があるときは，その取り消しの日から 1 箇月以内に類似の事業を目的とする他の公益社団法人又は公益財団法人に贈与しなければならない．

（剰余金の処分制限）
第 36 条　本会は，会員その他の者に対し，剰余金の分配をすることはできない．

2　会員に剰余金を分配する総会の議決は無効とする．

（事業計画及び収支予算）
第 37 条　本会の事業計画及びこれに伴う収支予算は，会長が編成し，理事会の議決を経て，毎会計年度開始前に行政庁に届け出なければならない．事業計画及び収支予算を変更しようとする場合も同様とする．

（収支決算）
第 38 条　本会の収支決算は，会長が作成し，財産目録，貸借対照表，事業報告書及び財産増減事由書並びに会員の異動状況書とともに，監事の意見を付け，総会，理事会の承認を受けて，毎会計年度終了後 3 箇月以内に行政庁に報告しなければならない．

2　本会の収支決算に剰余金があるときは，総会，理事会の議決を経て，翌年度に繰り越すものとする．

（長期借入金）
第 39 条　本会が資金の借入れをしようとするときは，その会計年度の収支をもって償還する短期借入金を除き，総会，理事会の議決を経，かつ，行政庁の承認を受けなければならない．

（新たな義務負担等）
第 40 条　ただし書き及び前条の規定に該当する場合並びに収支予算で定めるものを除くほか，本会が新たな義務の負担又は権利の放棄のうち重要なものを行おうとするときは，総会，理事会の議決を経なければならない．

（会計年度）
第 41 条　本会の会計年度は，毎年 4 月 1 日に始まり，翌年 3 月 31 日に終る．

第 8 章　定款の変更及び解散

（定款の変更）
第 42 条　この定款は，総会の議決を経て，変更することができる．

（解　散）
第 43 条　本会の解散は，総会の議決その他法令で定められた事由により解散する．

（残余財産の処分）
第 44 条　本会の解散に伴う残余財産は，総会の議決を経て，公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする．

第 9 章　情報開示

（書類及び帳簿の備付及び閲覧）
第 45 条　本会の主たる事務所に，次の書類及び帳簿を備えなければならない．ただし，他の法令により，これらに代る書類及び帳簿を備えたときは，この限りではない．
(1)　定款
(2)　会員の名簿
(3)　総会で議決権代理行使をした場合の委任状
(4)　総会で書面による議決権の行使をした場合の議決権行使書
(5)　総会で議決の省略をした場合の同意書
(6)　理事会で議決の省略をした場合の同意書
(7)　役員及びその他の職員の名簿及び履歴書
(8)　財産目録
(9)　資産台帳及び負債台帳
(10)　収入，支出に関する帳簿及び証拠書類
(11)　総会，理事会の議事に関する事項
(12)　処務日記
(13)　官公署往復書簡
(14)　その他必要な書類及び帳簿

2　前項第 10 号の帳簿及び書類は 10 年以上，同項第 11 号の書類は永年，同項第 12 号から第 14 号までの書類及び帳簿は 1 年以上保存しなければならない．
3　前項第 1 号，第 11 号に掲げる書類は支部にも備え置くものとする．
4　帳簿及び書類等の備え置き期間並びに閲覧については，理事会の承認を受けた情報公開規定に定めるものとする．

（公告）
第46条　本会の公告方法として，電子公告を行う．

2　特別の事由により前項の電子公告ができない場合は，官報に掲載して行う．

（委任）
第 47 条　この定款に定めるもののほか，この定款の施行について必要な事項は総会，理事会の議決を経て，会長が定める．

附則
1.　この定款の変更は，一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成 18 年法律第 50 号）第 106 条第 1 項に規定する登記をすることを停止条件として成立するものとし，当該登記をした日から施行する．
2.　旧社団法人日本設計工学会定款(昭和 53 年 4 月 1 日制定，昭和 54 年 1 月 19 日文部大臣認可)に基づいて設置されていた理事会はこれを廃止する．
3.　認定を受けた後の最初の会長，副会長並びに監事は以下のとおり．
　会長　勝田正文
　副会長　金田　徹，下田博一，平野重雄
　監事　笹島和幸，下坂陽男
附則
4.　一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成 18 年法律第 50 号）第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散登記と公益法人の設立の登記を行ったときは，第 41 条の規定にかかわらず，解散の登記の前日を事業年度の末日とし，設立の登記の日を事業年度の開始日とする．（平成 23 年 5 月 27 日）